

開講科目名／Course	教職概論	
ターム・学期／Term・Semester	2025年度／Academic Year 2 学期／Second	
開講区分／semester offered	2 学期、3 学期／Second,Third	
単位数／Credits	2.0	
学年／Year	1	
主担当教員／Main Instructor	吉村 匠平	
担当教員名／Instructor	関根 剛、吉村 匠平、小野 治子、麻生 良太	
必修・選択 ／compulsory subject	選択	
講義形態 ／Class Type	講義	
授業回数	15	
科目の目的と概要	「教員としての基本的な心構え」、「教職の意義」、「教員の役割・職務内容」を学ぶ。講義だけでなく、講義の内容についてお互いの意見や疑問を討論し、一つ一つについて自分の意見や考えがもてるようにする。そうすることで、教師としての心構えや教師としてのありようを身につけ、職業としての方向性を見いだせるような授業を目指す。	
到達目標	1. 学校教育に課せられた現代的課題について多角的に捉える。 2. 社会における教職の意義と個人にとっての教職の意味を説明する。 3. 教員の職務内容を、教育関連法規に沿って説明する。 4. 2年次以後も履修を継続するのか、養護教諭の志望を勘案して判断する。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. オリエンテーション 02. 職業としての教師 担任として 03. 職業としての教師 管理職として 04. 養護教諭の実践 保健管理 05. 養護教諭の実践 安全管理 06. 公教育制度の理念 07. 教育を支える教育法規 08. 学校教育の目的と目標 09. 教師のメンタルヘルス 10. 危機管理と教員の責任 11. 地域との連携・協同 12. 教員養成制度 13. 教員免許法と採用試験 14. 教育実習 15. 求められる教師像	
その他の授業の工夫	教育に関する様々なトピックをとりあげて、受講者が話し合う機会を提供する。 管理職、養護教諭など、現場での経験を有するゲストスピーカーによる授業を行う。 上位学年の履修生との交流の機会を設ける（時間割の調整ができた場合）。	
時間外学修	・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこなう（20h）。 ・ショートレポートの作成（15h）。 ・期末レポートの作成（10h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験の成績（20％）、レポート（80％）で判断する。	
テキスト	指定しない。	
参考書	教職論ハンドブック（ミネルヴァ書房）	
履修する上で必要な要件		
その他	この講義を選択したからといって、2年次以後、継続して教職課程を履修しなければならないということではありません。履修を通して、今まで皆さんが学んできた「学校」という制度を批判的に振り返り、職業としての養護教諭が皆さんにとって「あり」なのか「なし」なのかを考える機会にしてほしいと考えています。現時点で進路が決まっていなくても、全く構いません。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士 吉村匠平：公認心理師、学校心理士 小野治子：高等学校・特別支援学校の養護教諭
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	横山秀樹：小学校教諭、小学校管理職 堀本フカエ：養護教諭
実務経験をいかした教育内容	教育現場で課題となることが多い、児童虐待、発達障害、保護者への対応などについて、事例を紹介する。	